

【資料】

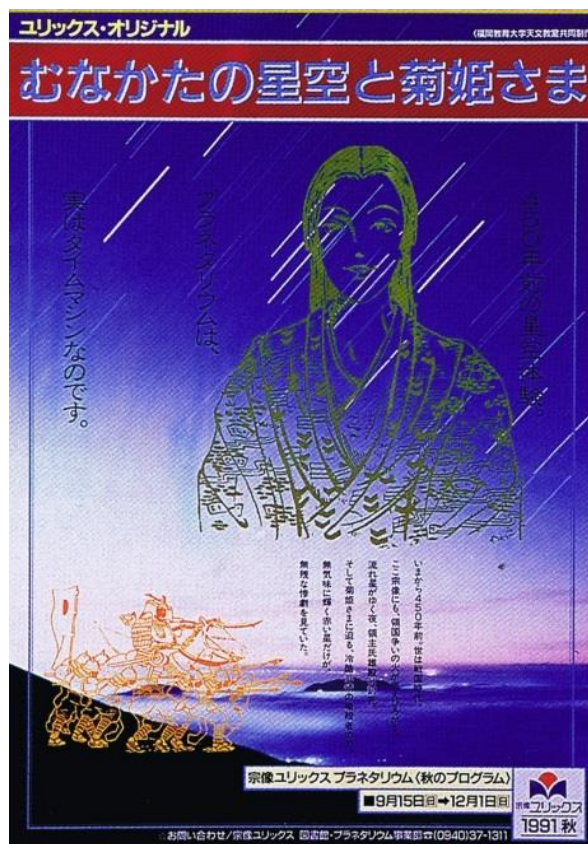
プラネタリウム自主制作番組 「むなかたの星空と菊姫さま」記録

梅村幸平（梅村制作室）・平井正則（福岡教育大学名誉教授）

これは1992年宗像市宗像ユリックス・プラネタリウム館にて、宗像市と福岡教育大学天文教室の共同制作による「むなかたの星空と菊姫さま」の制作・公演記録である。

このプラネタリウム番組は1992年（平成4年）9月15日～12月1日に公演され、前年観客数は27%増しの4806名を記録した。番組は宗像の増福院山田地蔵尊の由来記に残る「檜葉の露」（資料1）に題材を取って、史実の調査・研究、山田地蔵尊のお祭り、菊姫の遺品などの取材をもとに、当時の天象を含めて制作し、郷土宗像の子供たちに向けて、福岡教育大学天文教室が中心に宗像市と共同制作したものである。

プラネタリウム公演番組は、演劇の俳優としてのプラネタリウム投影機、舞台としての曲面投影スクリーンからなり、公演の臨場感を記録・保存することは難しい。そこで、ここに制作の記録、脚本、使用スライドを掲載し、記録として保存するものである。なお、この報告に掲載された資料は福岡教育大学天文教室発行の冊子（資料2）による。



公演ポスター

1. 共同制作の目的について

(1) プラネタリウム自主制作の試み

福岡教育大学天文教室

我が国のG N Pの上昇とともに国外では国際社会の一員としての日本の役割の重視、国内では社会教育、とりわけ、国民に根ざした生涯教育の充実が課題となった。

ふるさと創生基金による市町村の社会教育の取り組みは、多数のしかも多額なスポーツ、文化施設の建設、地域特有のイベント開催に現れた。

しかし、文化施設についてみれば、それらが本質的に地域の文化、歴史や地域の風土、全国的な視点での経済、文化、交通条件の相対的な関係に強く依存するため、お金だけでは解決できない多くの問題を提起している。

我が天文教室はプラネタリウム番組の自主制作を通して、地域に根ざした文化の市民による掘り起こしを試みることから、プラネタリウムのソフトから市民の意見の反映までを、どのように展開すべきかを実践的に研究した。ここに、当初計画した自主制作番組の完成と公開を終え、市民の方々からの十分な評価を頂いたと考える。この共同研究に二年度を通じ、終始、熱い御支援を頂いた宗像市、福岡教育大学に心から感謝したい。

最後に、宗像記者クラブを中心とする各報道関係記者の心からの御支援に深く感謝したい。なぜなら、地域に係るこの種の研究成果には記者諸氏の御支援が不可分なことを、この研究を通じて得たからである。

(2) 空想から科学へ

福岡教育大学学長

星座というものは、見る人にいろいろのことを考えさせてくれる。だから、空を見て考えることを「空想」というのかと思う。とくに、星空にはロマンがある。星空を見ることから天文学が生れたことはご承知の通りである。したがって、天文学は学問の中でも、もっとも古い学問である。

星座を見て「空想」している中から、「科学」としての天文学が生まれたことになる。科学も結局は空想の結果だったわけである。したがって、星占いも天文学も、もとはといえば親戚筋に当る。ロマンがあつて、科学にも、文学にも、芸術にも、宗教にも通じる「空想」をよび起こしてくれる星空、ここにこそ、「考える」ことの原点がある。

(3) 手作り番組で地域の関心を

宗像ユリックス館長

今回のプログラムは宗像地域に伝わる戦国悲話を題材としたもので、平成3年度の秋プログラムとして、9月から12月までの正味65日間投影し、入場者数4806名、前年同期比27%増という期待した以上の成績であった。

手作り番組で内容が地域密着ということから、事前にマスコミが取り上げてくれたことが、地域の歴史を確認しようとする新市民の関心を掘り起こし、旧市民からは悲話の映像化に興味を寄せられた結果と総括している。

ご指導賜った福岡教育大学天文教室に心から感謝申し上げます。

2. 制作

(1) プラネタリウムの“タイムマシン”効果を活用して

制作スタッフ

まず、約40分の番組を二つに分け、前半では秋の星空を解説し、後半で地域に密着した物語を紹介する。

孝子武丸正助翁の生誕の地を取り上げ、武丸正助を案内役として登場させる。正助はアニメ画で子供たちが親しみを感じる動きや音楽を取り入れ、できるだけ分かりやすく星座を案内していく。ひと通り秋の星座の紹介の後、ナレーションを変えてギリシャ神話を紹介する。その際、独自に制作した線画に効果音を盛り込んで迫力を出し、正助の場面とは全く違った雰囲気仕上げた。場面は再び正助の登場となり、星座の位置をおさらいするとき、学校では教わらない方法でペガスス座から北極星を探す。

後半は、広く市民に親しまれている歴史物語と天象を重ね、語り調に物語を展開させる。ここで取り上げている菊姫物語は、約400年前の史実にある戦国悲話で、取材や資料収集にも労力を要した。史実から起こした物語とはいえ、プラネタリウム特有の歴史的時間変化の機能をフルに利用することにより、天象を忠実に再現した。観客はポスターのキャッチフレーズ“タイムマシン”にでも乗ったかのように、菊姫と同じ空を眺めることになる。さらに、版画の生地を使って情感的に表現するために、わざわざ版画を制作し、次にスライドを制作するという大変な作業を行った。

(2) 制作スケジュールと制作スタッフ

〔制作スケジュール〕


- | | | |
|--------|--------------|-------------------------------------|
| ▲1月21日 | 原案原稿上がり | |
| ▲1月22日 | スタッフ顔合わせ | ・番組制作目的と番組の特色の確認
・投影までのスケジュール計画 |
| ▲1月29日 | 資料収集（宗像市役所） | ・正助アニメ画の原画ほか |
| ▲2月 | <取材：増福院> | ・菊姫ものがたり絵巻ほか |
| ▲3月 8日 | 第1回企画会議 | ・原作の構想と資料の確認
・ハード側の問題点とエンジニア側の意見 |
| ▲3月23日 | 撮影（増福院ほか） | |
| ▲4月12日 | 第2回企画会議 | ・作業概要（シナリオ、スライドの検討） |
| ▲4月23日 | 撮影（増福院大祭） | |
| ▲5月10日 | 第3回企画会議 | ・タイムテーブルとスライドの配置計画 |
| ▲5月20日 | スタッフ会議 | ・スライド試作 ・Na、BGM制作 |
| ▲6月 6日 | 正助まんが制作者との交渉 | |
| ▲6月14日 | 第4回企画会議 | ・スライド試写
・ナレーター決定 ・シナリオ最終確認 |
| ▲7月19日 | 第5回企画会議 | ・版画の下絵決定 ・BGMの確認 |


- ▲7月25日 ナレーション録音
- ▲8月 5日 版画本摺り
- ▲8月 9日 第6回企画会議 ・リハーサル等
- ▲8月21日 最終録音
- ▲8月24日 スライド上がり
- ▲9月 9日 セットアップ開始
- ▲9月10日 ラフ・ランスルー
- ▲9月13日 報道各社取材
- ▲9月14日 ユリックス試写会
- ▲9月15日 公演開始
- ▲12月1日 公演終了……………全観客数：4806名（前年度比27%増）

〔制作スタッフ〕

- ▲制作……………宗像ユリックス
- ▲企画・構成……………福岡教育大学天文教室
- ▲原作……………平井正則
- ▲制作管理……………梅村幸平＜（有）梅村制作室＞
- ▲原画制作……………谷川 章＜エントリーサービスプロモーション(株)＞
鶴 義弘
- ▲版画制作……………伊東匡子＜福岡教育大学＞
- ▲録音……………北島万砂夫＜（株）アプトクリエーション＞
- ▲ナレーション……………浜本義昭、徳永玲子、安田千賀恵
- ▲写真撮影……………河野徹也＜宗像ユリックス＞、片山文博＜K2＞
- ▲プログラミング……………河野徹也＜宗像ユリックス＞
- ▲進行管理……………伊東匡子＜福岡教育大学＞
- ▲協力……………宗像市、妙見山増福院

3. 脚本

タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音響・備考
1分12秒	・夕暮れ	・宗像ユリックススタ景のスカイライン	○NA(男声) 暖かな日差しをふりまいていた太陽が、ゆっくりと西に傾いていきます。もうすぐ、この宗像の空にも美しい星たちの世界がはじまります。	☆BGM1
	・星空が浮かび上がる	・宗像ユリックス夜景のスカイライン	<間>	
2分21秒	・方向灯	・正面向きの正助 ・新立山を示す矢印 ・「新立山」の文字 ・横向きで歩く正助(正助は横へ移動) ・大穂を示す矢印 ・「馬頭観音堂」の文字	○正助(女声) みなさん、こんにちは。僕の名前は正助(しょうすけ)です。よろしくね。僕は、ずーと昔から宗像の武丸(たけまる)に住んでいるんだ。みんな、「新立山(しんたてやま)」って知ってるかい？ ここ宗像ユリックスからは東南の方角に見える、この山。僕の家はこの近くにあるんだ。 もう少し右へ進むと、ここが真南。大穂(おおぶ)の「馬頭観音堂」がある方角だね。そしてもっと右、さっき太陽が沈んでいったのが、西の方角。こっちの方には福岡の街が広がっているから、夜でも街の灯りで、ぼうっと空が明るく見える。 そして、みんなの背中の方が北。今日のお話にでてくる菊姫さまにゆかりの「増福院」っていうお寺が、この辺りにあるんだ。 僕は毎日、この美しい宗像の街と空一面に広がる星たちを眺めて暮らしているんだ。今日は、僕がみんなを夜空の散歩に案内しよう。さあ、宗像の秋の星空の世界へ、出発。	
2分39秒	<番組タイトル>	・増福院を示す矢印 ・「増福院」の文字 ・空を見上げる正助 ・片手を上げる正助 	<間> ○正助(女声)	☆BGM2

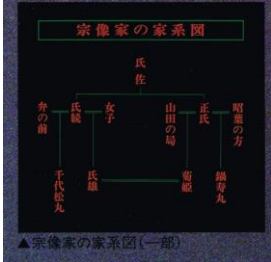


タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音響・備考
3分00秒	・土星を示す スターサークル	<ul style="list-style-type: none"> ・空を見上げる正助 ・「土星」の文字 ・「土星」の写真 ・「惑星」の文字 	まず、南の空からスタートだ。南の空の低いところに、明るく目立つ星があるだろう。これは「土星」だよ。土星は、みんなもよく知ってるよね。そう、あの大きな輪を持った、大きな惑星さ。「惑星」っていうのは、太陽のまわりをぐるぐる回っている星のことで、僕たち地球の仲間なんだ。	☆BGM3
3分38秒		<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系のイメージ図 	みんなは「水、金、地、火、木…」って聞いたことがあるだろう。惑星は、僕たちの地球をふくめて、全部で9つあるんだ。太陽に近い順から、水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星、冥王星とならんで、太陽のまわりを回っているんだ。	
4分20秒		<ul style="list-style-type: none"> ・正面向きの正助 	他に見えるたくさんの星は、みんな太陽と同じように自分で光り輝いているんだけど、惑星は地球と同じで、自分で光をだしたりしていないのさ。なのに、どうして夜空で輝いて見えるのかって？ それはね、太陽のおかげなんだ。惑星っていうのは、まばゆい太陽の光を反射しているから、まるで自分で光っているように見えるんだ。だから、地球だって、遠くから見れば、1つの星のように見えるはずさ。	
5分41 秒		<ul style="list-style-type: none"> ・正面向きの正助 	<p><間> ○正助(女声)</p> <p>さあ、今度は星座を見てみよう。大昔の人たちは、一日中働いて疲れた体を休めながら、きらきらと夜空を飾る星たちに、すてきなお話を思い浮かべたんだ。これが星座のはじまりってわけさ。今夜も星座たちは、この美しい夜空いっぱいドラマを繰り広げているんだ。</p>	
6分25秒		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの星座絵 (1つずつ点けた後、順に消していく) 	<p><間></p> <p>秋の星空で有名な星座は、ペガサス座、アンドロメダ座、ペルセウス座、カシオペア座、ケフェウス座、南の魚座…。さて、君はいくつ知ってるかな？</p>	☆BGM4 ☆星座絵の登場に合わせた効果音
7分09秒		<ul style="list-style-type: none"> ・ペガサス座ライン ・「秋の四辺形」の文字 ・ペガサス座星座絵 	<p>みんなのちょうど頭の上くらいのところに、明るい星が四角にならんでいるのが見えるだろう。ほら、分かったかな？ これが、ペガサス座だ。夜空に大きな四辺形を描いているから「秋の四辺形」って呼ばれているんだ。</p> <p>ペガサスっていうのは、背中に翼の生えた馬のこと。ギリシャ神話にでてくる馬なんだ。探しやすい星座だし、秋の星空の案内役をしてくれる星座だから、今日、ぜひ覚えて帰ってほしいな。</p>	

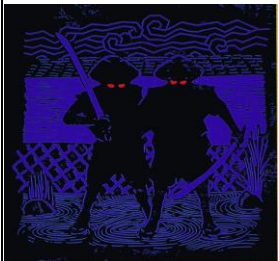

タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音響・備考
8分07秒	・「アルフェラッツ」を示すスターサークル	・アンドロメダ座 星座絵	さて、この四辺形の角から東の方角に進むと、これがアンドロメダ座だ。アンドロメダはとても美しいお姫さまなんだけど、かわいそうに今は両手を鎖でつながれた姿なんだ。アンドロメダ座から、さらに東に進むと、ペルセウス座にぶつかる。ペルセウスはアンドロメダ姫を救いだす勇者なんだ。 ほら、右手に剣を振りかざして、勇ましい姿をしているのが分かるかな？ そして、腰のところにあるのは、怪物メドゥーサの首だ。勇者ペルセウスは怪物メドゥーサを退治して帰るところなんだ。メドゥーサっていうのはとても恐ろしい怪物で、メドゥーサの顔を見た者は、石に変えられてしまうんだ。	☆BGM5
8分33秒		・ペルセウス座 星座絵		
9分22秒	・四辺形の東の辺を示すスターサークル ・カシオペア座へのスターサークル	・ペガサス座ライン ・カシオペア座ライン ・カシオペア座星座絵 ・ケフェウス座星座絵 ・正面向きの正助	さて、もう一度、ペガサス座の同じ東の角から、今度は北の方に進んでみよう。Wの形をしたカシオペア座の登場だ。カシオペアはね、さっきのアンドロメダ姫のお母さんさ。椅子に腰をかけた姿が見るかな？ そして、その隣にいるのが、ケフェウス王。アンドロメダ姫のお父さんなのさ。ええっと、この美しい星たちにまつわるお話を紹介しよう。	
10分07秒				
10分22秒		・ギリシャ神話の風景 線画のスカイライン ・カシオペアの線画	＜間＞ ○NA(男声) 古代エチオピアの王家に起きた物語。国王ケフェウスとその後カシオペアの間には、それはそれは美しい娘のアンドロメダ姫がおりました。母のカシオペアは「海のニンフ、ネレイドの50人の姉妹だとて、私の娘アンドロメダの美しさには及ばない」と自慢ばかりしていました。	
10分55秒		・岩につながれたアンドロメダ姫の線画	これを聞いた海の神ポセイドンは怒って、化けくじらティアマトを遣わして国中を荒らし回りました。国王ケフェウスは許しを乞いましたが、アンドロメダ姫を化けくじらに差し出さなければ、海の神ポセイドンの怒りは鎮まりそうもありません。ケフェウス王は泣く泣く可愛い娘のアンドロメダ姫をいけにえとして、海岸の岩に鎖でしばりつけたのです。	
11分51秒	・稲妻	・荒海の線画のスカイライン ・海を渡る化けくじらの線画	波しぶきを立て、大口を開けて姫に迫ってくる化けくじら。アンドロメダは恐ろしくて目も開けていられません。	☆波音と雷鳴 ☆BGM6

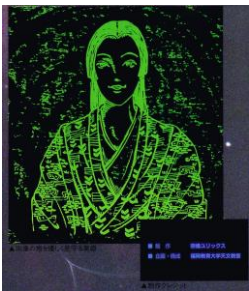
タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音 響・備 考
12分11秒		<ul style="list-style-type: none"> ・ペガサスに乗るペルセウスの線画 ・ペルセウスと化けくじらの戦いの線画 ・石化する化けくじらの線画(海に沈む) ・助けられたアンドロメダ姫の線画 	<p>ところが、ちょうどその時、勇者ペルセウスが通りかかり、勇敢にも化けくじらに戦いをいどんだのです。</p> <p>剣を振るって立ち向かうペルセウス。荒れ狂う化けくじら。ペルセウスはとっさに腰のメドゥーサの首を化けくじらに向けました。</p> <p>メドゥーサの魔力で化けくじらは、見る見るうちに石に変わってしまいました。</p> <p>こうして化けくじらは退治され、アンドロメダ姫は無事に助けられたのです。</p>	☆化けくじらの悲鳴と石化の音
12分55秒		<ul style="list-style-type: none"> ・カシオペア座星座絵 ・くじら座星座絵 	<p>しかし、母のカシオペアは、娘を自慢し過ぎた罪の償いとして、椅子に縛り付けられ、一年中、北極星のまわりを回ることになったのです。</p> <p>そして、石になった化けくじらも星座となって、この秋の夜空を飾っているのです。</p>	
13分50秒		<ul style="list-style-type: none"> ・正面向きの正助 	<p><間></p> <p>○正助(女声)</p> <p>こんなお話を聞いていると、夜空が本当に星たちのドラマの舞台だって感じがするね。ところで、さっき見た秋の四辺形ペガサスは、どこにいったのかな？ 君はどれがペガサス座なのか、ちゃんと見つけられるかな？</p>	☆BGM7
14分13秒	<ul style="list-style-type: none"> ・アルフェラッツを示すスターサークル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペガサス座ライン ・ペガサス座星座絵 ・アンドロメダ座星座絵 	<p><間></p> <p>そう、この4つの星だったよね。</p> <p>ペガサスのちょうどおへそにあたる、この星。星座絵を見ても分かる通り、アンドロメダ姫の頭の位置にあるよね。</p> <p>ペガサスの四辺形と呼ばれている、この星。実はペガサス座の星座ではなくて、アンドロメダ座の星の1つだったんだ。</p> <p>ペガサスの向いている方が西だから、アンドロメダ座のある方は東ということになるね。そして、アンドロメダ座のすぐ隣には、ペルセウス座があるんだったよね。</p>	☆各星座絵はそのまま残す
15分03秒	<ul style="list-style-type: none"> ・四辺形の東の辺を示すスターサークル ・カシオペア座へのスターサークル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペガサス座ライン ・カシオペア座ライン 	<p>そうすると、みんなの背中側が北になるだろう。北といえば北極星が有名だよ。このペガサスの四辺形を使うと、北極星が簡単に見つけられるんだよ。いいかい、四辺形のこの辺を、北の方に4倍してごらん。すると、カシオペア座のWの端っこの星にぶつかるだろう。</p>	


タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音響・備考
15分32秒	・北極星への スターサークル ・北極星を示す スターサークル	・「北極星」の文字	そこから、さらに4倍。 ほら、この星。これが「北極星」さ。ね、簡単に見つけられるだろう。	☆天球が 星座絵で 満たされる
15分52秒		・ケフェウス座星座絵 ・カシオペア座星座絵 ・くじら座星座絵	王様のケフェウスは、ちゃんとカシオペア王妃の隣にいるよ。 そして、ほら。目の前を見てごらん。南の夜空を泳ぎ回るくじら座だ。大きい なあ。 どうだい、星空の主人公たちのおしゃべりが聞こえてくるような気がしてこな いかい？	
16分21秒	・四辺形の西の辺を 示すスターサークル ・南の魚座への スターサークル ・フォーマルハウトを 示すスターサークル	・ペガサス座ライン ・南の魚座星座絵 ・「フォーマルハウト」 の文字 ・「秋の一つ星」 の文字	<間> おっと。秋の夜空には、もうひとり主役がいたんだっけ。 秋の四辺形ペガサスのこの辺を、南へ3倍していくと、とても明るい星が見つ かるだろう。 ここには、南の魚座という星座があるんだ。 その中でも一番明るく光っている星は「フォーマルハウト」って呼ばれている。	
17分28秒	・土星を示す スターサークル	・「土星」の文字 ・正面向きの正助 ・「流星雨」の文字	まわりにあまり明るい星がないので、「秋の一つ星」ともいわれているんだ。 ところで、この星。覚えているかな？ 今日、僕たちが一番はじめに見た星だ よ。そう、その通り、土星だね。 <間> それから、秋の美しい夜空では、星たちがすてきなショーを見せてくれること があるんだよ。何だか分かるかい？ それはね、夜空に尾を引いて駆け抜け る流れ星さ。なかでも短い時間にいくつもの流れ星が現れるのは特別に「流 星雨」って呼ばれているんだよ。秋はこの流星雨に出会えるチャンスが多い んだ。	

タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音響・備考
18分05秒	・天球は菊姫物語の 星空へ動く	・増福院の正面写真 	ところで、ここ宗像地方には、秋の流れ星にまつわる昔話があるのを知ってるかい？ じゃ、これはどこだか分かるかい？ 宗像にある有名なお寺だよ。今日、最初にもちよつと話にでてきた増福院、っていうのがこのお寺だ。星空散歩の後は、宗像に伝わる菊姫さまの物語を紹介してみよう。	☆BGM8
18分41秒		・宗像の豊かな自然 ※昔話のシーンは、 版画による絵で統一	<間> ○NA(女声) 神代の昔から、この宗像の地は、美しい松林とおだやかな波の戯れる浜辺を持ち、人々は豊かな自然の中で静かにつつましい営みを続けてまいりました。ことに、この地を治められました宗像大宮司家は、天皇家の血を継ぐ公家であり、領民はみな信心深く、なごやかな心の持ち主でございました。しかし、永い歴史にはさまざまなことが起こるものでございます。	
19分48秒		・戦国時代の 合戦風景	それは、いまからおよそ四百四十年もの昔、日本中が戦乱に明け暮れていたころのことでございます。人が人を滅ぼし、主と家来が争い合う恐ろしい戦国時代のさなかのことでございます。	
20分32秒			時の宗像家七十八代・氏雄(うじお)さまは代々の縁あって、大内義隆(よしとか)さまにお仕えしておられました。当時、義隆さまは山陽から九州・大宰府にまで勢力を誇られ、その本拠を山口に構えておられました。宗像家の当主・氏雄さまも、母君の山田の局さまと奥方の菊姫さまを宗像の白山城(はくさんじょう)に残され、山口に程近い長門に住まわれておられたのでございます。	
21分29秒		・刃を交える 騎馬の戦国武将 	天文二十年の夏も終わろうとするころのこと、義隆さまの横暴な振る舞いを家臣の陶隆房(すえたかふさ)が諫めたことがございました。ところが、義隆さまは怒って、陶隆房を罵ったそうでございます。辛抱しかねた陶隆房は、ついにこの年八月、兵二千旗をもって謀反を起こしたのでございます。不意をつかれた義隆さまに、どのような反撃ができましたか。勢いに乗る謀反の軍勢の前に、義隆さまは無残にも敗れてしまわれたのでございます。	☆刀を打ち 合う音
22分31秒	・流星雨	・氏雄軍の敗戦 	ご主君の大事を救わんと、氏雄さまは懸命に反撃なされたそうでございます。が、しかし、すさまじい勢いの陶軍の前に、氏雄さまもわずか二十三歳の若さで討ち死になされたのでございます。	☆合戦の音
23分11秒			氏雄さまが討ち死になされた秋の夜は、月のない真っ暗な闇夜でございました。見上げる夜空には遥かな天の頂きから、無数の流れ星が幾度も幾度も走り、若き武将・氏雄さまのご無念をお慰めするかのように降り注いだそうでございます。	☆寂しげに 響く虫の音 ☆BGM8

タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音 響 ・ 備 考
23分52秒		<p>・宗像家の家系図</p>  <p>▲宗像家の家系図 (一部)</p>	<p>やがて主君を倒した陶氏は、宗像家の領地の支配をねらい、氏雄さまの血を引かれる方々の追討を、ひそかに命じたのでございます。これが氏雄さまの父君・氏続(うじつぐ)さま、氏続さまの若君・千代松丸(ちよまつまる)さま、母君・山田の局さま、奥方・菊姫さまにまで及ぶ、恐ろしい暗殺のはじまりだったのでございます。</p>	
24分53秒		<p>・身をひそめる 千代松丸と乳母</p>	<p>氏雄さま戦死の知らせは、すぐに宗像の白山城の山田の館におられる菊姫さまのもとにも届きました。氏雄さまの父君・氏続(うじつぐ)さまは、事態の深刻さをお感じなされて、いち早く若君・千代松丸さまをお隠しするよう手配なされ、ご自身も英彦山へと落ち延びてゆかれました。</p>	☆BGM9
25分28秒		<p>・追手に刺し殺される 千代松丸と乳母</p> 	<p>ところでございます。わずか三歳の千代松丸さまにさえ、すぐさま追手が差し向けられました。千代松丸さまは乳母に抱かれて、今、この宗像ユリックスのある久原(くばら)辺りまで逃げて来られたのでございます。</p>	
25分52秒		<p>・庭先で涼む菊姫と 2人の侍女</p>  <p>▲隠れ住まう氏雄の奥方菊姫</p>	<p>木陰に身を隠され、お二人はじっと息をひそめておられました。しかし、運悪く千代松丸さまのむずかるお声が、追手にさとられてしまい、はかなくも千代松丸さまは小さなお命をここで落されたのでございます。</p>	☆幼児の むずかる声
26分51秒	<p>・天球は当時の 春の星空を再現 (東の空に火星) ・流れ星</p>		<p>また、氏続さまも英彦山で敵方に見つかり、無残なご最後をとげられたそうにございます。</p>	☆BGM10 ☆鶯の鳴き 声
28分12秒	<p>・東の空に火星</p>		<p>明けて天文二十一年三月、白山城のこんもりとした裏山で、ひとしきり鶯の声が聞こえる春二十三日のことのでございました。暖かな日差しも弱まり、春の陽が落ちて、氏雄さまが散られた夜のように幾度となく流れ星がゆく夕べでございました。菊姫さまは早い湯浴みをすまされ、お側にお仕えいたしておりました侍女の私・小少将(こしょうしょう)と小夜(さよ)をお連れになって、館のお庭へでられました。空は暗く、西にはまだわずかに春の残り陽がただよってございました。そう、このような夜空でございました。</p>	
			<p>時に目にとまる流れ星と、東の空には真っ赤な星だけが、気味悪く光っていたようでございます。湯浴みの後の心地よさに、いつもは伏し目がちな菊姫さまも、どこからともなく吹いてくる春の夕べのそよ風に、いまだ出ぬ月を待つかのような風情でございました。</p>	☆BGM11

タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音響・備考
28分56秒		・闇に浮かぶ 二人の追手の姿 (冊子の表紙絵)	庭の片隅で何かが揺れたのに気付いたのは、私でしょうか、小夜であつたでしょうか。二つの影は見る間に大きくなり、まるで夜空を覆い隠すかのように見えました。無言の影に、かすかな刃のきらめきが走って、はじめて私は菊姫さまのお命に危険が迫ったことを知ったのでございます。	
29分30秒			まことに不幸なことは重なるものでございます。こんなこともあろうかと、菊姫さまは亡き殿から頂いた短刀を、いつも肌身離さず胸元に忍ばせておられたのでございますが、この時ばかりは湯浴みの後で、小さな扇子のほかには身を守るものはございません。それでも、菊姫さまは暴徒の刃に扇子をもって立ち向かわれ、ハッシと第一の太刀を防がれました。扇子は壊れ、ワツと乱れ飛びました。しかし、振り降ろされた刀の先は、不幸にも菊姫さまの腿にふれ、一条の鮮血が襖に走ったのでございます。	☆刃が風を 切り裂く音 ☆扇子で 刃を受け 止める音
30分38秒	・天球を一瞬、 赤色に染める	・切られる菊姫	次の瞬間、可憐なすみれの花を踏みにじるけだもののように、無残にも第二の太刀が、菊姫さまの肩を切り裂いておりました。	☆不気味な 効果音
31分24秒	・東の空に月が昇る		私と小夜は慌てて長刀を取り、暗殺者に立ち向かい、大声をあげて山田の局さまに危険をお知らせせんと奥に駆け込みました。急を聞いた二人の侍女も、長刀を手に山田の局さまを必死でお守り申し上げました。しかし、女の力では限りがございます。大きな月が東の空にかかり、夜空の星の輝きが白い月明かりに薄れるころ、縁側からのぞき込む月明かりの中、六つの死骸が、あの不気味な赤い星の輝きと同じ色に染まっていたのでございます。	☆BGM12
32分44秒			まことに無念ながら、菊姫さまはたった十八年の短い生涯を終えられたのでございます。	
			その後、陶氏は鍋寿丸(かじゅまる)さまという男児を遣わし、七十九代・氏貞(うじさだ)公として、宗像家を継がせたのでございます。やがて雄々しく立派に成人なされた氏貞公は、居城を白山城から蔦ヶ城(つたがじょう)、今の福岡教育大学裏の城山(じょうやま)に移し、宗像一円の領地をよく治めたのでございます。	☆BGM13

タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音 響・備 考
33分25秒			しかし、氏貞公は永い間、菊姫さまの亡霊に苦しめられることになりました。それは信心深い宗像の人々の胸に、菊姫さまの悲しみが深く宿り、人々の心に残った無念が、決して簡単には消えることがなかったからでございます。	
34分04秒			氏貞公は菊姫さまの怨念を恐れられ、また哀れに思われて、白山城の近くに妙見山増福院を建てられたのでございます。六人の亡がらがねんごろに弔われ、手厚く葬られてからは、菊姫さまの祟りもびたりと止み、再び平穏で、おだやかな潤いに満ちた宗像の里が築かれてまいったのでございます。	
34分54秒		・にこやかに微笑む 菊姫の姿	今、菊姫さまは、薄幸のうちに終えられたご自分の生涯を取り戻されるかのように、宗像の空にとどまれ、増福院を訪れる信心深い人たちに、安らぎと幸福をもたらし続けておられるのでございましょう。	☆BGM8
35分36秒		・正面向きの正助	＜間＞ ○正助(女声) ちょっと怖いところもあったけど、どうだった？ 増福院にこんな悲しいお話があったなんて、びっくりだね。増福院の近くには亡くなった六人のお墓が今も残っているし、六人ともお地蔵さまとして祭られているんだって。それで増福院のことを「山田のお地蔵さま」なんて呼んだりもするわけだ。	☆BGM14
36分09秒		・「山田のお地蔵さま」 の文字 ・菊姫の道具の写真 ・増福院「春の大祭」 の写真	お寺には、菊姫さまがほんとに使っていたという鏡や、貝合わせっていう遊び道具なんかもあるんだって。そして、菊姫さまの亡くなった日に当たる四月二十三日には、今も毎年、お祭りがあるんだって。一度、遊びにいったらみると、面白いんじゃないかな。	
36分41秒		・「流星雨」と「流星群」 の文字 ・「ペルセウス座 流星群」の文字	今のお話の中で、菊姫さまの旦那さまだった氏雄さまが亡くなった夜の星空に流れたのが「流星雨」だね。たくさんの流れ星の群れという意味で、「流星群」ともいわれるんだ。流星群は毎年決まった日に、決まったところから流れるように見えるんだ。一番有名なのは、八月十三日ごろに見られるペルセウス座の流星群さ。八月十三日の夜、ペルセウス座が天の頂きにあるころ、一時間に六十個もの流れ星が現れるんだよ。	

タイム	天 球	ス ラ イ ド	ナ レ ー シ ョ ン	音響・備考
37分31秒		<ul style="list-style-type: none"> ・「オリオン座流星群」の文字 ・「しし座流星群」の文字 	<p>今年、一九九一年の秋にも、いくつかの流星群が見られるんだ。なかでもおすすめなのが、十月二十一日ごろのオリオン座の流星群。それと十一月十七日ごろのしし座の流星群。忘れずに見てほしいな。</p>	☆BGM15
38分11秒		<ul style="list-style-type: none"> ・火星の写真 ・「火星」の文字 	<p>それと菊姫さまが見つめていた不気味な真っ赤な星、あれ、何だか分かったかい？ そう、もちろん火星だね。火星はこのお話の時、つまり一五五二年には春の夜空に輝いていたけど、今年、一九九一年には六月ごろの夜空で見られたんだ。</p> <p>火星も、地球や土星と同じ仲間だから、自分で光ってる星じゃなくって、太陽の光を反射して輝いている惑星なんだよ。</p>	
39分00秒		<ul style="list-style-type: none"> ・正面向きの正助 ・両手を上げる正助 	<p>＜間＞</p> <p>秋の星座と菊姫さまの物語、どうだった？ 面白かったかな？ さて、今日のプラネタリウムの番組も、そろそろ終わりに近づいてきました。今日は宗像ユリックスのプラネタリウムに来てくれて、ありがとう。また、いつか、ここで会おうね。それじゃ、さよなら。またね～。</p>	
39分48秒		<ul style="list-style-type: none"> ・ENDタイトル ・制作クレジット ・正面向きの正助 ・正助公園の完成イメージ図 ・両手を上げる正助 	<p>＜間＞</p> <p>○正助(女声)</p> <p>そうそう、最後にホットニュースがあるんだ。僕が生れた家の近く、宗像市新立山に来年の春、宗像の新名所「正助公園」が新しくオープンするんだよ。僕も今から楽しみにしてるんだ。オープンしたら、みんなもぜひ遊びに来てよね～。</p>	
40分21秒		<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりと星が消え、やがて明るくなる 		

参考文献

資料1 上妻国雄著「檜葉の露」－山田地蔵尊由来記－

資料2 福岡教育大学・宗像ユリックス＜共同研究＞

自主制作番組「むなかたの星空と菊姫さま」

1992 福岡教育大学天文教室 FUKUOKA UNIVERSITY OF EDUCATION

冊子全6ページ（1992年6月福岡教育大学天文教室刊）

